

|                                    |      |        |           |      |
|------------------------------------|------|--------|-----------|------|
| <b>特別研究講義Ⅱ</b><br>(TFU 実学臨床研究セミナー) | 単位数  | 時間数    | 履修方法      | 配当学年 |
|                                    | 2単位  | 22.5時間 | SR        | 1・2年 |
|                                    | 担当教員 | 単位認定者  | 総合福祉学研究科長 |      |

### ■授業のテーマ

これまでの「実学臨床研究セミナー」からは、包摂（インクルーシブ）社会をつくるためには、社会的排除を生み出し、「包摂」の妨げとなる「格差」に対する実践が必要となることに気づかされた。こんにちの日本社会では、地域、収入、情報などの格差や、性別や障害などへの差別や偏見から、体験や経験の違いが生じている。同じスタートラインに立つこと、言い換えれば同じ人間として包摂される社会から排除されるのは、格差やそれが固定化した階層があるからだと考えられる。人の尊厳を守り、社会正義を実現するためには、これらの格差や階層への働きかけが必要となるだろう。

今年度のセミナーでは、社会福祉、保健・医療、教育等の実践家と当事者が、格差の存在に気づき、その対応に協働して取り組む実践を、年間のテーマとして展開し、そこから研究的実践者として、実践研究者として留意すべき視点について理解を深めることをこの講義のテーマとする。

### ■授業の目的

- ・格差、階層の現状を把握し、その構造を理解する。
- ・そこへ向けた各分野からの取り組みを学ぶ。

### ■授業の到達目標

- ・現代社会の格差、階層の構造を説明することができる。
- ・格差、階層への各分野からの取り組みを理解し、ウエルビーイングを実現する包摂社会をつくるための方法を具体的にイメージすることができる。

### ■授業の概要

格差、階層問題の現状やその課題を解決するためおこなわれている様々な分野での取り組みを、月1回開催される「TFU 実学臨床研究セミナー」で、各分野の講師がリアルタイムに展開するとともに、計3回の対面、オンラインによる授業を実施し、受講の準備、確認、まとめを行い、現代社会の格差、階層から生じる課題とその解決方法の理解を進め、実学臨床研究の視点、視座などについても確認する。

### ■レポート課題

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| 課題1<br>(事後課題) | 格差、階層の構造を説明し、そこへの取り組みについて、セミナーから学んだことをまとめてください。 | 【提出期限】  |
|               |   | <input type="checkbox"/> 対面授業後1ヶ月以内<br><input type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで<br><input checked="" type="checkbox"/> その他<br>(12コマめ受講後提出可、 <u>提出期限1月末日必着</u> 。) |

## ■スクーリング授業計画（予定）

（「TFU 実学臨床研究セミナー」のテーマは仮、予定が変更される場合もある）

下記15回の授業のうち【オリエンテーション】【これまでの振り返り】【まとめ】の3回以外は、「TFU 実学臨床研究セミナー（全12回）」を受講します。開催日は T FU 実学臨床研究セミナー実行委員会の指定する日程での受講が必要となります。※ 4月初旬に送信するメールに沿ってセミナーを要申込必要。

|    | 授業の内容  | 授業の方法                            |
|----|--|----------------------------------|
| 1  | 【オリエンテーション】<br>セミナーを受講するにあたって学修目標の設定などの準備をする   | 対面およびオンライン、あるいは<br>オンデマンド教材による授業 |
| 2  | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第1回<br>【総論とオリエンテーション】格差問題に挑む「支援・サービスギャップ」への<br>実践的アプローチの可能性～精神保健福祉実践の経験から～ | 対面、オンライン、オンデマンド                  |
| 3  | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第2回<br>人口減少地域における地域福祉実践  | //                               |
| 4  | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第3回<br>社会的支援から取り残された中高生世代の子どもに対する福祉的支援                                     | //                               |
| 5  | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第4回<br>生活困窮世帯の子どもの体験格差・学習格差へのアプローチ   | //                               |
| 6  | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第5回<br>実践研究の「種」①現場（関連法人や協定法人）での「実践上の問い合わせ（種）」と<br>研究の視点                    | //                               |
| 7  | 【これまでの振り返り】<br>これまで5回のセミナーを振り返りまとめを行い、6回以降のセミナーでの学修<br>目標を考える                              | 対面、オンライン                         |
| 8  | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第6回<br>「女性」へ対する社会福祉実践  | //                               |
| 9  | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第7回<br>【職能団体とのシンポジウム】格差問題への福祉実践からのアプローチ                                    | //                               |
| 10 | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第8回<br>不登校支援、特別支援教育実践の現状   | //                               |
| 11 | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第9回<br>実践研究の「種」②現場（関連法人や協定法人）での「実践上の問い合わせ（種）」と<br>研究の視点                    | //                               |
| 12 | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第10回<br>精神科医療における強制性の格差とそれへの対応   | //                               |
| 13 | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第11回<br>希望する在宅療養継続を実現する訪問看護サービス  | //                               |
| 14 | 「TFU 実学臨床研究セミナー」第12回<br>【総括シンポ】格差問題への福祉実践からのアプローチ  | //                               |
| 15 | 【まとめ】<br>セミナー全体を振り返り、目標の達成状況を整理する  | 対面、オンライン                         |

## ■評価の方法・基準

- ・「TFU 実学臨床研究セミナー」への出席と各回の課題の提出（5%×12）
- ・事後課題レポート（40%）

## ■参考文献

各担当講師作成の資料等